

(様式1)

○普及に移す品種

[タイトル] 濃赤色のユリ咲きチューリップ新品種「砺波育成 125 号」(仮称) の育成

[要約] 花色が濃赤色のユリ咲きチューリップ新品種「砺波育成 125 号」を育成した。本品種は、ユリ咲き品種の花色としては数少ない濃赤色で、花茎が長い。晩生品種としての花壇植えや2～3月出しの切り花生産に適する。

[キーワード] チューリップ、ユリ咲き、花色、花壇植え、切り花生産

[担当場所・課] 農林水産総合技術センター・園芸研究所・花き課

[連絡先] 電話 0763-32-2259

[背景・ねらい]

チューリップの多様な花型の中で人気のあるユリ咲きチューリップの花色を豊富にするため、花色として数少ない濃赤色のユリ咲き品種を育成する。

[成果の内容・特徴]

1 育成経過

1990年に花色が黄色に赤色の糸覆輪で花茎が強い育成系統「71-19-13」(Adorno×Old Glory)を種子親とし、ユリ咲きの野生種「*Tulipa acuminata*」を花粉親とした種間交雑を行い、得られた有胚種子992粒を実生養成した。1996年に花色が濃赤色の系統「90-10-3」を選抜して球根増殖し、2007年から特性検定試験を開始した。2011年に「砺波育成 125 号」の系統名を付与し、2012年まで特性検定を行った結果、実用性が高いと判定された。

2 特性の概要

(1) 露地での開花期は4月下旬で、対照品種の「Pretty Woman」よりやや遅く、「Compliment」よりやや早い(表1)。花色は、ユリ咲き品種としては数少ない濃赤色である(図1)。茎長は40cm以上で花茎が長く、露地での観賞期間は「Pretty Woman」とほぼ同じである(表1)。草姿の揃いが良く、花壇植えに適する。

(2) 球根収穫期は6月中～下旬で、「Pretty Woman」よりやや遅く、「Compliment」より早い(表2)。主球の肥大性は「大」、分球性は「Pretty Woman」、「Compliment」より大きく「大」であるが、ほ場裂皮が多くなる傾向がある(表2)。

(3) 早期促成栽培での開花率は低いが、2～3月出しの作型では安定した切り花栽培ができる(表3)。

(4) 球根腐敗病に対する抵抗性は「強」である(表4)。

[成果の活用面・留意点]

1 晩生品種としての花壇植え及び2～3月出し促成切り花栽培に適する。

2 新たな品種名を決めて品種登録出願予定である。

3 球根収量性検定は、施用窒素成分量16kg/10a(基肥9kg+秋追肥4kg+春追肥3kg)で定期的な畦間かん水をしない条件下で行ったものであることから、球根生産時のほ場裂皮を少なくするために、施用窒素成分量を生産現場での慣行量とし、覆土量をなるべく多くするとともに4月中旬からの畦間かん水を定期的に行うなどの栽培管理を徹底する。

4 土壌伝染性病害多発ほ場に植付けた場合の抵抗性は、微斑モザイク病に対しては「中」、条斑病に対しては「弱」と判定されていることから、両病害を回避するための対策を講じるとともに、生育・開花時の罹病株の抜き取りを徹底する。

(様式1)

[具体的データ]



図1 「砺波育成125号」の草姿及び花型

表1 露地開花時の地上部特性(試験年の平均)

系統・品種名	花色	開花日 (月/日)	観賞期間 (日)	花弁長 (cm)	花弁幅 (cm)	花梗径 (mm)	茎長 (cm)	草丈 (cm)	葉長 (cm)
砺波育成125号*	赤	4/28	10.6	8.2	3.5	5.7	47.6	35.9	23.6
Pretty Woman**	赤	4/26	11.0	6.7	3.9	5.8	28.1	31.7	16.6
Compliment***	赤紫	4/30	12.3	8.4	4.4	5.6	36.5	38.5	25.3

\*2007,2008,2012年 \*\*2012年 \*\*\*2009,2010,2011年 供試球サイズ:11cm

表2 球根収量性(100株当たり 試験年の平均)

系統・品種名	掘取り日	サイズ別球数					総球数 (球)	総球重 (kg)	ほ場裂皮率 (%)
		≥12cm	11cm	10cm	9~7cm	6cm≥			
砺波育成125号*	6月20日	46	31	18	50	353	498	3.86	77.1
Pretty Woman**	6月15日		21	50	76	237	384	3.07	2.6
Compliment***	6月25日	69	20	7	165	199	460	5.14	7.4

\*2007,2008,2012年 \*\*2012年 \*\*\*2009,2010,2011年 供試球サイズ:9cm

表3 促成適応性検定(試験年の平均)

系統・品種名	植付け日 (月/日)	開花日 (月/日)	開花率 (%)	花弁長 (cm)	茎長 (cm)	葉長 (cm)	切り花重 (g)	花持ち日数 (日)
砺波育成125号*	11/9	12/31	54.2	6.1	35.9	19.9	17.7	—
砺波育成125号**	12/13	2/7	100	7.1	41.6	20.6	22.8	8.1
Pretty Woman***	12/6	2/7	100	6.7	33.0	15.8	23.5	8.2
Compliment****	10/28	12/20	100	6.2	36.2	22.2	19.3	10.7

\*2007,2009年 \*\*2010,2012年 \*\*\*2012年 \*\*\*\*2009,2010,2011年 供試球サイズ:11cm

表4 球根腐敗病抵抗性検定\*

系統・品種名	年次	発病株率(%)	評価**
砺波育成125号	2008	11.4	
	2010	8.6	◎
	2012	11.4	
Pretty Woman	2011	17.1	◎
	2012	17.1	

\*孢子懸濁液浸漬処理後に箱植えして検定

\*\*抵抗性の評価:極弱×<△<○<◎<●極強

[その他]

研究課題名: チューリップ新品種育成・開発

予算区分: 県単、受託(実用技術開発事業)

研究期間: 2012年度(1990~2012年度)

研究担当者: 浦嶋 修、村上 欣治<sup>1</sup>、今井 徹<sup>2</sup>、辻 俊明、木津 美作絵<sup>3</sup>、飯村 成美<sup>4</sup>、池川 誠司<sup>5</sup>、西村 麻実、井上 徹彦、天橋 崇<sup>6</sup>、石黒 泰<sup>7</sup>

(1:元農業技術センター野菜花き試験場、2:高岡農林振興センター、3:新川農林振興センター、4:広域普及指導センター、5:砺波農林振興センター、6:元農林水産総合技術センター園芸研究所、7:現岐阜大学)